

落葉する頃に花が咲きます。ーマルバノキー

「マルバノキ」は、マンサク科マルバノキ属に分類されます。葉の形態が丸いことから名付けられました。花言葉は「早熟」「幸福の再来」です。

日本では、長野県、愛知県尾張地方、岐阜県美濃地方、福井県越前地方、滋賀県、岡山県、広島県安芸地方、高知県などに隔離分布しています。最終氷期の残存種という説もあり、個体数はあまり多くありません。陶史の森では、湿地帯近くの散策路周辺に数本分布しています。

「マルバノキ」は丸みを帯びたハート型の葉をもつ落葉低木です。愛らしい葉は春には鮮やかな若葉、秋には赤い紅葉となります。日当たりのよい場所では、鮮やかに紅葉しますが、半日陰で、緑、黄、赤の葉が混在した美しい姿にもなります。「マルバノキ」の花は他の落葉花木とは違って赤く色づいた葉が散り始めるころに咲き始めます。咲き方も変わっていて「マンサク」のような形の赤い小さな2つの花が背中合わせに咲きます。赤くて「マンサク」に似た花が咲くことから「ベニマンサク」と呼ばれることがあります。秋の陶史の森を彩る大切な樹木です。森の中を散策しながらマルバノキの花を発見した時には、見つけた喜びと「こんな風に花が咲くのだ」という不思議さを感じ、なんだかうれしい気持ちになります。



早春のマンサクの花



マルバノキの花 ～背中合わせに2つ～

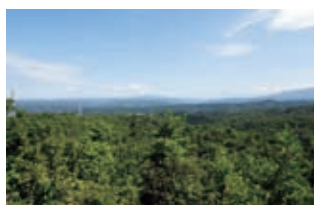


マルバノキの紅葉 ～ハート型の葉～



これからが見頃になります。展望台
9月10日(木)

下の写真は、9月10日の展望台とそこからの景色です。まだまだ緑いっぱいの初秋の森ですが、この広報が出される頃にはちょうど紅葉が始まる時期だと思います。陶史の森の展望台からは、御嶽山、白山、恵那山、中央アルプス、伊吹山などの山々、金華山岐阜城、名古屋駅付近の高層ビル群も見られ、秋から冬へと向かう季節の中で鮮やかな紅葉の景色と共にほぼ360度のパノラマを楽しむことができます。ネイチャーセンターから徒歩約1時間で展望台に到着します。天気の良い午前中がチャンスです。



教室のご案内

10月

秋の天体教室 (要申込 定員10名)

10月24日(土) 午後7時～

集合場所：第2駐車場

月と火星を観測します。 雨天中止

バードウォッチング (要申込 定員10名)

10月25日(日) 午前9時～11時30分

秋の野鳥を観察します。 雨天中止

11月

葉っぱのしおり作り (要申込 定員10名)

11月1日(日) 午前9時～11時30分

色づいた葉っぱを採集し、しおりにします。

バードウォッチング (要申込 定員10名)

11月22日(日) 午前9時～11時30分

晩秋の野鳥を観察します。 雨天中止

ネイチャーセンターでは、双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。